

土井：通学路の一部でもある中野トンネルにLED照明を取り付けていただくのはありがたいですが中野トンネルは不審者の情報もよく聞き及ぶ場所です。地元の皆さんからもトンネルに防犯カメラを設置してほしいなどの依頼がありますが、行政としてどのようにお考えなのかお尋ねします。

行政：我々教育委員会におきましても、同じようなお声はいただいている。したがって、当該地域における防犯カメラの設置については、来年の4月以降、学校再編以降、関係方々との協議、調整などを経て、その必要性は判断していく意向。

土井：ぜひとも前向きに取り組んでいただきたいなと思います。子どもたちは、私たち地域にとって宝物ですのでしっかりと対応をお願いします。

### ● 監査請求を求める議案が可決

地方自治法第98条第2項の規定により監査委員に対し監査を求め監査結果に関する報告を求める議会から提出された議案が全会一致で可決されました。提案理由は下記の通りです。令和元年11月12日開催の本会議において、庁内端末機器の更改遅延により、サポート期間を1年延長するための費用を含む令和元年度一般会計補正予算（第3号）が提出され、当該予算については行政運営に多大なる影響を与える予算執行の観点から可決しました。しかしながら付託された予算決算常任委員会の審議の中、複合的な理由での遅延については一定理解できたものの、客観的な調査により遅延となった要因を明らかにすることにより、当初予算確定後の事務執行における瑕疵の有無等について検証する必要があるとしたため、本案を提案をいたしました。

#### 【解説】

Windows 7のサポートが令和2年で終了することに伴い、Windows 10に対応したパソコンを購入するという予算案は平成31年2月定例議会で可決されていたにも関わらず、9月19日に総務課が起案し10月8日に市長決裁が行われた公募型指名競争入札が不調になったため再度入札が行われました。その結果、現在のWindows 7のサポートを1年間延長せざるを得ない状況になってしまい、そのサポート費用が800万円も必要となり、結果市民の皆さまの大切な税金が投入されることになりました。多くの自治体では、このようなことにならないよう平成30年度にパソコンなどを買い替えています。

### ● 退職金廃止の条例案は提出されず

9月定例議会の質問で市長選挙の時に市民の皆さまと約束をされていた退職金の廃止条例が未だに提出されていない理由は？と東修平市長へ質問すると多忙であったためと答弁されました。12月議会で上程されるものだと思っていたら、なぜか上程されませんでした。

副市長や教育長の報酬や退職金の引き上げの条例案は、東市長就任以降上程されているにも関わらず、自身の退職金廃止の条例案は提出できない理由はないと思うのですが…このままであれば当初予算に計上しなければならない可能性も出てきます。このような事態を市長はどうお考えなのでしょう？

このまま任期満了まで提出されなければ下記の退職金が支払われることとなります。  
920,000円×48ヶ月×100分の40＝17,664,000円←この金額が通常支払われる金額です。しかし土井前市長時代に退職金を50%に削減するという条例へ変更しているためこのまま条例が変更されない限り8,832,000円が支払われることとなります。

### ● 福島県へ寄付を行いました。

4月の市議会議員選挙で皆様とお約束させていただいていた議員報酬削減ですが、四條畷市議会では大阪維新の会以外の反対で否決されました。本来なら四條畷市へ寄付をできたら良いのですが公職選挙法の規定により残念ながらできません。否決されたから！とそのまま満額の報酬を貰っていたら市民の皆様は顔向けできませんので、当初の報酬削減額を踏まえ月額報酬の10%分53,000円×8ヶ月分＝424,000円を震災や台風の被害が大きかった福島県へ私から寄付させていただきました。



※当日一緒にお邪魔した児玉亮大東市議会議員も別口で義援金として寄付させていただきました。

# 市政報告

発行日：令和2年1月12日  
発行元：土井一慶  
Tel：090-1591-5611

大好きな、四條畷のために。

四條畷市議会議員（大阪維新の会）

かずよし  
土井一慶

- 若い力で政治を動かす。 -

＝新年のご挨拶＝

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、平成最後の四條畷市議会議員選挙に初挑戦し4,084票という多くの市民の皆様からご信任を頂き、令和の始まりでもある令和元年5月1日より四條畷市議会議員としての活動が始まりました。私はスローガンに「大好きな四條畷のために」を掲げ、市民の皆様にとって少しでも住みやすいまちづくりをという思いで、日々取り組んでまいりました。本年、四條畷市は市制施行50周年という大きな節目を迎える年でもございます。この間行政の力で今日を迎えたわけではなく、多くの市民の皆様のお支えがあったからこそ四條畷市は発展してきたと考えます。この先、超少子高齢化が到来しますが、常に時代の潮位を的確に読み取り、投資する場所にはしっかりと投資し、無駄な支出についてはしっかりと精査し、市民の皆様と共に四條畷のまちづくりを行ってまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



39  
歳